



経営のパートナーになるということ

1. 入社当初に感じた先輩や上司からの学び

- ①経営統合に関する案件
- ・政治背景が絡む統合、タテマエの議論が続き、歩調が合わない。
- ・一方は、政治的な取り決めだけ進むことに、統合後の事業継続性に不安
- ・オフィシャルな場ではなかなか議論できない環境があった
- →何が不安に感じているか、傾聴し、共に感じ、前向きな方向性を考えること
- ②親族内の組織案件にて
- ・兄弟が2名で代表を務める会社。
- ・前進させるにはコミュニケーションが必要であるが、お互い腰が重い。
- →どうすれば意思疎通が図れるか、メール、タイミング、きっかけを共に考える
 - ・相手の立場や背景、プレッシャーを感じ取り寄り添う先輩や上司の姿やアドバイス
 - ・相手の視座の深い空間へ同じ目線でみることの学び

2. それを今できているか?自分への常に問いかけ

コロナ騒動の中で...

- ・「自分がいる会社なら」「経営する会社なら」…相手の脳へアクセスできている?
- → 自分は会社の一員である。当事者である。そんな意識を本気でもっている?
- → 自分よがりではないか?

3. 大切にしたいこと

- ・相手の視座に (精一杯背伸びして)立つということは、専門性は関係ない
- ・社長は本当はこう考えているでは?毎晩こんなことを感じているのでは?を考える。
- ・そのうえで、自分はどういう何ができるか?
- →自分だけできることはほんの一部。
- ⇒お客様の成功をイメージして、メンバーから知見を頂く、力を共に合わせること。